

科目名	英語演習		英文表記	Seminar in English		23/02/2015			
科目コード	4014					作成			
教員名: 星野恵里子 技術職員名: N/A									
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全学科			4年	選	履修	1単位	演習 前期		
科目目標	4年制大学3年次への編入学試験の傾向を知り、その対策をする。								
総合評価	学年末評価は、毎回実施する小テスト40%+定期試験(中間試験・期末試験)の平均60%として換算し、60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法	ルーブリック				
					理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック	
	50%	①	各大学で実施された編入学試験問題を、読解できる。その際、「なんとなく」ではなく、「適宜必要とされる文法事項を抑え、正確に読み取ることができる。」(MS:C-5f)(IC:C-1)(MI:C-3f)	正しく読めるか、定期試験及び講義中の小テストで評価する。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(英文読解)を、辞書などを使わずに自分で解答できる。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(英文読解)を、辞書などを使って解答できる。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(英文読解)を、辞書などを使って部分的に解答できる。		
	10%	②	教員の指示を明確に理解できる。(MS:C-5f)(IC:C-1)(MI:C-3f)(BR:C-2f)	正しく理解できているか、授業中の反応で評価する。	classroom Englishのみならず、文化的説明なども理解できる。	classroom Englishを正しく理解できる。	classroom Englishを断片的に理解できる。		
	10%	③	正確な発音で英語で質疑応答ができる。(MS:C-5f)(IC:C-1)(MI:C-3f)(BR:C-2f)	正しく発話されているか、授業中の態度で評価する。	未知の単語でも、知識からもしくは発音記号から類推して正しく発話できる。正確なセンテンスを用いて発話できる。	未知の単語は、モデル発音を聞いて発音できる。センテンスを用いて発話しようと努力できる。	未知の単語は、モデル発音を聞き、カタカナでルビを振って発音できる。断片的な単語を連結して発話できる。		
30%	④	各大学で実施された編入学試験の条件英作文が解答できる。その際、要求されている構文などを推測し、自然な英語を用いることができる。また、自由英作文の場合は、論理的な展開をしながら、正確で自然な文章を書くことができる。(MS:C-5f)(IC:C-1)(MI:C-3f)(BR:C-2f)	正しく書けるか、定期試験及び講義中のクイズで評価する。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(条件英作文・自由英作文)を、辞書などを使わずに自分で解答できる。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(条件英作文・自由英作文)を、辞書などを使って解答できる。	専門分野の基礎に関する内容や、志望大学の編入学試験(条件英作文・自由英作文)を、辞書などを使って部分的に解答できる。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎	○	○		JABEEプログラム教育目標	C-1, C-4, C-5	C-1, C-3	C-3	C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		60	40	0	0	100			
基礎的理解			40			40			
応用力(実践・専門・融合)		60				60			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 編入学試験の過去問題は事前に配布し、予習を前提として授業を行う。 英文法の問題は解説後、次週に小テストを実施する。 英語の読解力をつけるために、英文を精読する習慣を身に着ける。 								
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> 各大学の3年次編入学過去問題。 適宜プリント配布。 								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	オリエンテーション 編入試験対策	2	オリエンテーション。 編入学試験過去問題の解説。	編入試験 英文法	
2	小テスト・英文法 編入試験対策	2	時制の基本的な用法が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
3	小テスト・英文法 編入試験対策	2	時制の応用が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
4	小テスト・英文法 編入試験対策	2	助動詞が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
5	小テスト・英文法 編入試験対策	2	受動態が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
6	小テスト・英文法 編入試験対策	2	不定詞が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
7	中間試験対策	2	中間試験対策。	編入試験 英文法	
8	前期中間試験(行事予定で適変更可)	2			
9	小テスト・英文法 編入試験対策	2	分詞・分詞構文が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
10	小テスト・英文法 編入試験対策	2	動名詞が理解でき、現在分詞と区別できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
11	小テスト・英文法 編入試験対策	2	疑問詞が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
12	小テスト・英文法 編入試験対策	2	関係代名詞が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
13	小テスト・英文法 編入試験対策	2	比較が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
14	小テスト・英文法 編入試験対策	2	仮定法が理解できる。 過去問題解答・解説。	編入試験 英文法	
15	編入試験対策 期末試験対策	2	期末試験対策。	編入試験 英文法	
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23		2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	文法問題の解答 単語・イディオムの予・復習			各2時間×30回	
②	定期試験問題対策			各5時間×2回	
③					
備考欄					
(共通記述)					
・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。					
(各科目個別記述)					
・ この科目の主たる関連科目は電子回路I・II(3年)、集積回路I(4年)、集積回路II(5年)					
その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)